

施策番号	0703		
施策名	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）		
概要	多様化する要望にこたえて、スポーツ施設の柔軟な運営と良質なサービスの提供を行うほか、スポーツを支えるしくみづくりや、スポーツを支える組織の人材確保を進める。		
担当局・部室	文化市民局・市民スポーツ振興室	共管局・部室	
上位政策	7 スポーツ		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画		

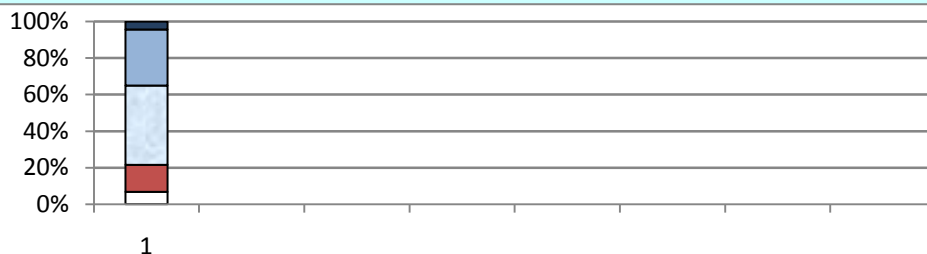
施策の評価

1 客観指標評価

指標名		年度	23年度	24年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数(人)	-	b	1,622	9,126	2,011	453.8%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
			b	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		24年度回答						
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動を、スタッフやボランティアとして支えるひとが増えている。	23 4.3%	164 30.7%	232 43.4%	79 14.8%	36 6.7%	534	c
2	-							
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c



- そう思う
- どちらかと言おうとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言おうとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					23 年度	C
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) スポーツ活動の支え合いが身近に感じられることが重要であるため、市民の実感を重視する。							
(原因分析) ・客観指標については、京都マラソン2012の開催により、同大会のボランティアが新たに加わり、前年度から大幅に増加したため、a評価となった。 ・市民生活実感評価では、「どちらとも言えない」が40%以上と多くなっていることから、スポーツを支える活動を認知してもらおう取組の必要性がうかがえる。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	スポーツ推進委員	23,913	27,132	良い	文化市民局
2	市民スポーツフェスティバル	16,456	19,333	良い	文化市民局
3	全京都大学野球トーナメント大会	3,624	4,579	かなり悪い	文化市民局
4	体育振興会事業助成	19,605	19,775	良い	文化市民局
5	国体派遣補助	1,518	1,331	普通	文化市民局
6	京都市体育協会運営補助	27,090	25,440	—	文化市民局
7	京都マラソン	559,831	371,238	かなり良い	文化市民局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・平成25年3月10日(日)に京都マラソン2013を開催し、大会を支えていただくボランティアの増加を図るとともに、大会をきっかけとしたスポーツの魅力発信に努め、スポーツボランティアの意義を伝え、「支えるスポーツ」のさらなる振興を目指す。

施策名	0703	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）				
指標名	市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数(人)					
担当課	市民スポーツ振興室		連絡先	3 6 6 - 0 1 6 9		
1 指標の説明						
市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数						
2 指標の意味						
市主催のスポーツ事業において市民の間でスポーツ活動を支え合う動きが活発化する状況を示す指標(支えるスポーツ)						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	1,622	9,126	7,504人増	2,011	21年度現況値(1457人)と32年度目標値(4500人以上)から各年度の目標を等差的に算出	453.8%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		4500人以上	32年度	202.8%	現況値(1,457人)の3倍以上となるように設定	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a:100.0%以上 b:90%以上～100%未満 c:80%以上～90%未満 d:70%以上～80%未満 e:70%未満						
6 基準説明						
当該指標については、目標値以上を達成したときをaとし、以下10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
		23	24			
-	b	a				